

通常文字。

「これは、私が小さいときに、村の茂平というおじいさんからきいたお話です。むかしは、私たちの村のちかくの、中山というところに小さなお城があって、中山さまというおとのさまが、おられたそうです。その中山から、少しはなれた山の中に、「ごん狐」という狐がいました。」（新美南吉「ごん狐」）

行間を広くします。

「これは、私が小さいときに、村の茂平というおじいさんからきいたお話です。むかしは、私たちの村のちかくの、中山というところに小さなお城があって、中山さまというおとのさまが、おられたそうです。その中山から、少しはなれた山の中に、「ごん狐」という狐がいました。」（新美南吉「ごん狐」）

その中山から、少しはなれた山の中に、「ごん狐」という狐がいました。ごんは、
行間を狭くします。

「これは、私が小さいときに、村の茂平というおじいさんからきいたお話です。むかしは、私たちの村のちかくの、中山というところに小さなお城があって、中山さまというおとのさまが、おられたそうです。その中山から、少しはなれた山の中に、「ごん狐」という狐がいました。」（新美南吉「ごん狐」）

へ入って芋をほりちらしたり、菜種がらの、ほしてあるのへ火をつけたり、百姓家
文字間隔をかえてみます。

文字間隔狭い(-1)。

(新美南吉)

文字間隔広い(1)。

文字間隔広い(2)。